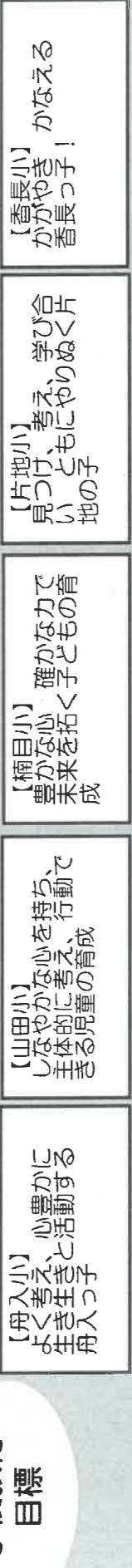


小中一貫教育グラウンドデザイン（鏡野中学校区）



【鏡野中】日本一幸せの多い学校 日本一幸せの多い生徒

- ◆ 自他の命を大切にできる人権感覚豊かな生徒【命・人権】
- ◆ 夢や希望をもって学力や体力の向上に取り組める生徒【学ぶ力】
- ◆ ふるさとを愛し大切にできる生徒【ふるさとと香美】



テーマ 何のために学ぶのか・何ができるようになるのか・どのように学ぶのか

共通課題 課題解決的な学び方を身に付ける

取組み 学びでつなぐ① 「課題解決型の授業づくり」と「学力の定着と授業改善」	1 教科研究 国語、算数・数学、理科、社会	自ら学び、未来を切り拓く学習の創造 (1) つけたい力の共有 ①各教科の見方・考え方を生かし、主体、対話、協働的に学ぶ力 ②つけるべき3つの資質・能力 ・活用できる知識・技能の習得 ・未知の状況に対しても、思考・判断・表現し、納得解・最適解を見出す力 ・学びに向かう力、人間性の涵養 (2) 学力課題の共有 (3) めざす授業づくりの共有 【基本過程】 ①課題把握をする ②見通しを持つ ③自力解決を進める ④思考の共有と吟味をする ⑤振り返る活動を行う(★)	評価の視点 ①知識が身に付いたか ②学び方はどうか ③人間性はどうか
学びでつなぐ② 「探究型の授業づくりとカリキュラムマネジメント」	2 総合的な学習の時間	探究的な学習における生徒の学習の姿 (1) 探究的な学習の育成 (2) 教科を横断する学び ①学習の基盤とする 言語活用能力、問題発見能力、情報活用能力 ②現代的諸課題に対応する 環境、地域の諸課題（少子化等）、防災、過疎化、ネット問題など	探究的な学習における生徒の学習の姿 <ul style="list-style-type: none"> ■ 日常生活や社会に目を向け、生徒が自ら課題を設定する。 ■ 探究の過程を振り返る。 ■ 自らの考えや理解が所々に写しこまれる。探究の過程が繰り返される。

育ちでつなぐ① 「児童理解と不登校未然防止」	3 仲間づくり・集団づくり (R2~3 魅力ある学校づくり事業) 4 生活課題の改善	みんなが来たい学校づくり (1) 「居場所づくり」と「絆づくり」 (2) 学びへの基本姿勢（学習規律等） 学習習慣・生活習慣の改善への啓発 (1) ゲーム、携帯電話、早寝早起き等 (2) 家庭学習の習慣（※自立した学びへのへの転換）	生徒指導は生徒理解 子供の見取り 子供の課題に合った授業 子供たちは学びに向かっているか 個別最適な学び
育ちでつなぐ② 「発達支援と集団適応」	5 アセスメントと適切な対応	教師のアセスメント向上と組織的対応の強化 (1) 軽度発達障害の理解とその対応（実践事例に基づいて） (2) 開発的な校内委員会の持ち方について（ 〃 ）	集団づくりと子供の関わり

※「校内委員会」とは、学校内の特別支援教育を推進するための組織であり、校内委員会が主催する個別の指導・支援に関する会議は校内支援会（個別ケース会議）として区別する。